

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1131	(H.24)No.	1131
-----------	------	-----------	------

事務事業名		「総合的な学習」推進事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
教育委員会事務局		学校教育室		和南 義一	63-7882
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施策	1	学校教育
	小施策	2	義務教育
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	462503
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	教育振興費	
項	教育総務費	(小事業名)	
目	教育振興費	「総合的な学習」推進事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>市内全小中学校において、小学校3年生以上の学年で、毎週3時間程度の学習を行う。学習内容としては、地域の特色を生かし、学校の創意工夫を持って行うため、地域のゲストティーチャを招いたり、調査に向き、調べたことを発表することなどにより、児童生徒の「生きる力」の育成につなげていく。</p>	

めざす効果(事業目的)	
<p>この事業を推進していくことによって、地域の方との出会いから、学校と地域の連携が強化されるとともに、児童生徒が、自ら調査したり、聞き取り学習をしたり、体験学習をしたりすることで、探究心や、創造力等、児童生徒の「生きる力」の育成につなげていく。</p>	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)			
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]			
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーを招いての聞き取り学習、体験学習 ・ゲストティーチャーへの報償費 ・体験学習に必要な材料費 		<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャーを招いての聞き取り学習、体験学習 ・ゲストティーチャーへの報償費 ・体験学習に必要な材料費 各学校に委託料として支払う。 15000円×22校+2500円×226クラス 			
	直接事業費	1,135千円	895千円	895千円	895千円	895千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他()					
一般財源	(0)	1,135	895	895	895	895
人工数	職員	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
	臨時職員等	0.02人	0.02人	0.02人	0.02人	0.02人
概算人件費	(0千円)	764千円	764千円	764千円	764千円	764千円
+ 総事業費	(0千円)	1,899千円	1,659千円	1,659千円	1,659千円	1,659千円

現在の実施手法(複数選択可)	
市が直接実施	
業務委託(全部・一部)により実施	
指定管理	
補助金・交付金	
その他 ()	

平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
地域の特色を生かして学校の創意工夫を持って行うため、地域のゲストティーチャーを招いたり、地域に調査に向き、調べたことをまとめ、発表する。	地域の特色を生かして学校の創意工夫を持って行うため、地域のゲストティーチャーを招いたり、地域に調査に向き、調べたことをまとめ、発表する。	地域の特色を生かして学校の創意工夫を持って行うため、地域のゲストティーチャーを招いたり、地域に調査に向き、調べたことをまとめ、発表する。

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	招聘したゲストティーチャーの総数	人	-			215
	実績			-	180	215	150
成果指標	目標	学級満足度調査による満足群にいる児童生徒の割合	%	-	-	70	70
	実績			-	-	57	60
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
地域に調査に出向き、調べたことを発表したり、ゲストティーチャーを招いての聞き取り学習が定着してきている。	今後も地域の特性を生かし、学校の創意工夫による事業の推進を図っていく。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
地域のゲストティーチャーを招いたり、地域の方と共に物作り等の活動をすることで、地域とのつながりが深まるので、今後とも充実させていきたい。	

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)はの場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	予算をより有効活用できるよう、各校における「総合的な学習」の時間の年間指導計画に沿った実践を推進していく。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	青蓮寺・百合が丘地区
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映を予定	各校での取組が各地域ビジョンの内容をできる限り反映できるものとなるように、働きかけをしていく。
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項